

1. 評価対象事務事業

シート作成日		平成25年7月19日	
事業名	鳥獣対策事業	担当課・係名	産業観光課産業振興係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	10
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	有害鳥獣による農作物被害の軽減				
対象 (誰を・何を)	農業者				
内容	①鳥獣による被害（特にイノシシによる農作物への被害を軽減するため、猟友会へ設置したイノシシ罠の管理委託） ②湘南有害鳥獣対策協議会 … 大磯町、二宮町、平塚市、農協、県等で鳥獣害による被害防止策等を講ずるため、組織化。 ③鳥獣対策設置費補助金 … 鳥獣害対策のために農家が自衛手段として設置する電気柵、ネット類、金網等の資材に対し町1/3、農協1/3支援する。 ④狩猟免許取得費補助金 … 自衛手段として農家に罠免許の取得するための補助を行う。				
根拠法令・条例等	大磯町農作物鳥獣被害対策補助交付金要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,345	1,254	1,254
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,345	1,254	1,254
	職員人数 (概算職員数)	人			0.20
	人件費計 (b)	千円			1,226
総事業費 (a)+(b)	千円	1,345	1,254	2,480	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費：173千円    管理委託料：428千円    物品借上料：87千円 機械器具購入費：87千円    湘南有害鳥獣対策協議会負担金：170千円 鳥獣対策設置費補助金：600千円    狩猟免許取得費補助金：50千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 農家	人	470	470	470
	②				
活動指標 (活動量)	① 電気柵等設置	件	39	27	40
	②				
成果指標 (達成度等)	① イノシシ等	件	67	77	70
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 実施主体は町ではなく、自衛策として農家が基本で町は補助。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 農家と猟友会と町と一体となった方法がベスト。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 捕獲数については、増えているが全体での実態は不明。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 職員の人件費を考慮すると非常に非効率である、委託に出せるものは検討する。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 今後、委託の方法を検討する。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input checked="" type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 農家の自衛手段としての位置づけと、委託できるものは委託する。	

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	捕獲されたイノシシの処理と普段のわなの維持管理について委託を検討する。また、土日、祭日対応について改善する。
② 平成26年度に着手する事項	わな等の維持管理を含め、地域主体型の体制の検証をする
③ その他（課題、調整事項等）	猟友会も人数が減ってきており、土日、祭日、の捕獲後の処理、通常処理についても相当負担がかかっているため改善が必要。

#### 6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

イノシシの処理について、26年度から一部を委託。25年度途中から処理した残渣をボックスに入れてもらって後処理にするなど、今後も事務の効率化を図っていく。また、遊休農地対策と並行して、有害鳥獣対策を検証する。
---